

リハビリテーション科に通院中又は通院歴のある方へ（臨床研究に関する情報）

本院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、診療情報を使って行います。このような研究は、文部科学省・厚生労働省・経済産業省の「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされております。なお、この臨床研究は関西医科大学医学倫理審査委員会の審査を受け、研究方法の科学性、倫理性や患者様の人権が守られていることが確認され、研究機関の長の許可を受けています。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

《研究課題名》 手根管症候群患者の生活困難感をもとに作成した新たなADL評価表の有用性の検証

《研究機関名・研究責任者》 関西医科大学大学院 修士課程 生涯健康科学研究科 遠近太郎
(北摂総合病院リハビリテーション科)

《研究の目的》 手根管症候群の患者様に対し、日常生活の困難感を把握するために当院で作成した日常生活動作の質問紙を用いて患者様の生活困難感を把握し診療を行っています。今回はこの質問紙の有用性を検証することを目的とします。有用性が検証されることで、将来的に手根管症候群患者様の日常生活動作障害の特性を明らかにできると考えています。

《研究期間》 2026年1月15日～2027年3月31日

《研究の方法》

●対象となる患者様

2022年5月1日以降に手根管症候群の診断を受け、治療を受けた患者様

●研究に用いる情報の種類

情報：年齢、性別、手術側、生活困難感を聴取する質問紙（CTSI、modified CTSI、DASH）

《情報の利用又は提供を開始する予定日》 研究機関の長の許可日

《外部への情報の提供》

データの持ち出しは、特定の関係者以外がアクセスできない状態で、セキュリティ付きのUSBを用います。個人情報や復元できる情報は、本院の研究責任者が保管・管理します。

情報の提供を行う機関の名称：社会医療法人仙養会北摂総合病院

情報の管理について責任を有する者：遠近太郎

提供する情報の取得の方法：パスワードをかけた状態の電子ファイル

《研究組織》

[研究責任者] 関西医科大学大学院 修士課程 生涯健康科学研究科 遠近太郎
(北摂総合病院リハビリテーション科)

[分担研究者] 関西医科大学リハビリテーション学部 福井 信佳、蓬萊谷 耕士

《この研究に関する情報の提供について》

この研究に関して、研究計画書や研究に関する資料をお知りになりたい場合は、他の患者様の個人情報や研究全体に支障となる事項以外はお知らせすることができます。

《この研究での診療情報等の取扱い》

お預かりした診療情報は、患者様の氏名や住所などが特定できないように安全管理措置を講じたうえで取扱っています。

《本研究の資金源・利益相反について》

この研究は外部の企業等からの資金の提供は受けておらず、研究者が企業等から独立して計画して実施しているものです。したがって、研究結果および解析等に影響を及ぼすことは無く、患者様の不利益につながることはありません。また、この研究の研究責任者および研究者は各研究機関の指針や規程等に基づき各研究機関の所定の委員会等に申請し、その審査と承認を得ています。

*上記の研究に利用することをご了解いただけない場合は以下にご連絡ください。

《問い合わせ先》

本院における責任者および研究内容の問い合わせ担当者

社会医療法人仙養会 北摂総合病院 リハビリテーション科 遠近太郎

大阪府高槻市北柳川町 6-24

電話 072-696-2121 (代表)

責任者：リハビリテーション科 作業療法士 遠近太郎